

27 満州事変に關し中華民國留學生に對する注意の件に付東
京帝國大學等へ通牒
〔昭和六年九月〕

〔注記1〕
官專四八五号
〔注記2〕 9月28日 文書課長
〔官下〕
〔注記3〕 9月29日 起案者
〔入住〕

昭和六年九月二十六日起案

学務課長
〔服部〕

専門学務局長
〔赤間〕

次官
〔中山〕

実業学務局長
〔木部〕

普通学務局長
〔藤原〕

満〔州〕〔洲〕事件ニ關シ中華民國留學生ニ對ス〔ル〕注意
〔抹消〕〔加筆〕

〔注記4〕

年月日

別紙学〔校〕〔総〕長宛
〔加筆〕

満〔州〕〔洲〕事変ニ關シ中華民國留學生ニ對スル注意ノ件
〔抹消〕〔加筆〕

今般突發シタル満〔州〕〔洲〕事変ノ為中華民國留學生ハ事件ノ
〔抹消〕〔加筆〕

真相及之ニ對スル帝國政府ノ態度等知悉スルコト能ハス危惧ノ
念ニ驅ラレ居ルヤニ仄聞セル事件ノ経過及帝國政府ノ態度ハ
別紙〔十〕〔九〕月二十四日附帝國政府声明ノ通り〔ナルニ付〕
〔抹消〕〔加筆〕

〔二有之右御了承ノ上〕留學生ニ對シ此際〔特ニ〕安ンシテ学ニ親
〔抹消〕〔加筆〕

ミ以テ留学ノ目的ヲ達成スル様〔可然御〕注意方〔可然〕御取計相
〔抹消〕〔加筆〕

〔下 札〕

〔抹消〕〔加筆〕
〔煩〕〔成〕度

追テ文化事業部補給生ニシテ九月分学費未受領ノ向ハ〔事件〕
ト結付ケ揣摩臆測スルヤノ趣ノ処右ハ〔抹消〕従来通り学校ノ出席
報告ヲ俟チ逐次支給致居ル次第ニ付〔右事件〕ト結付ケ揣摩臆
測セサル様〔右〕〔加筆〕〔抹消〕〔取越苦勞セサル様〕併セテ御注意相成
度外務省〔ア〕〔ヨ〕リノ申越〔モ〕有之此段申添フ
備考 別紙浄写ノ上一部添付ノコト〔マ〕

文化一普通第九六三号

〔注記5〕 昭和六年九月二十五日

外務次官 永井松三 印

文部次官 中川健藏殿

滿洲事変ニ付中国留学生ニ注意ノ件

〔仄聞スル処ニ依レハ中国留学生ハ今般突発シタル滿洲事件ノ真
相及之ニ対スル帝国政府ノ態度等ヲ知悉スルコト能ハサル為危
惧ノ念ニ驅ラレ居ルヤノ処事件ノ経過及帝国政府ノ態度ハ別紙
十月二十四日附帝国政府声明ノ通りナルニ付留学生ニ対シテハ
安ンシテ学ニ親ミ留学ノ目的ヲ達成スルニ努力スヘキ旨各学校
ヲシテ此ノ際特ニ注意セシメラルル様御配慮相煩度此段申進ス
追テ文化事業部補給生ニシテ九月分学費未受領ノ向ハ事変ト
結付ケ揣摩臆測スルヤノ処右ハ従来通り学校ノ出席報告ヲ俟
チ逐次支給致居ル次第ニ付取越苦勞セサル様併セテ申聞相成
様御取計相煩度申添フ

〔加筆〕 〔注記29〕

一 高	専修大学	上智大学	立正大学	日本医科大学	立教大学	東京慈恵大	東京農大	中央大学	日本大学	政法大学	明治大学	早稲田大学	慶応大学	大阪〔医大〕〔帝大〕	大阪商大	〔愛知医大〕〔名古屋医大〕	神戸商大	大阪工大	東京工大	広島文理大	東京文理大	長崎医大	千葉医大	東京商大	北海道帝大	九州帝大	東北帝大	京都帝大	東京帝大	学校名	種別	入学志願者	入学者	現在在学者
	二八	二				三	四	一三	四〇	二一	八〇	六八	七		三	三	五	八	一五一	三	一	一三	一〇	四八	一四	一一	九	一二	二八	東京帝大	入学志願者	二〇	七二	
	二七	一				三	三	一三	三八	二〇	八〇	六二	五		二	一	三	五	二三	二	四	四	九	五	五	三	八	二〇	京都帝大	入学者	八	四〇		
	三八	二				一			一一〇	八六	三八八	二二五	五一	一		三	一一	九	一一五	三	七	一七	一一	二八	四一	一六	四〇	七二	東京帝大	現在在学者	二〇	七二		

中華民國留学生入学志願者入学者並現在在学者数調

東京物理	九	九	一一	
関西学院				
奈良女高師	二七	一五	二八	
東京女高師	五	二	九	
広島高師	三七	二九	四四	
東京高師	一八三	五六	一二四	
東京写真				
秋田鉦山	二三	三	一一	
福井高工				
明治高専	一六	一一	四一	
横浜高工				
仙台高工	二〇	六	一〇	
東京高芸				
名古屋高工	二	一	七	
大分高商				
盛岡高農				
長崎高商	四一	三一	四一	
千葉高園	一	一	一	
鳥取高農				
鹿兒島農林	一		二	
三重高農				
東京高蚕	一八	一	四	
上田蚕糸				
成城				
浪速	二	二	三	
水戸	八	一	六	
八高	一一	三	一三	
七高	二	一	七	
六高	二	二	二	
五高			三	
四高	二		一	
三高	三		一三	
二高	四	三	七	

東京医専	一三		二八	
東京女医専			一一	
東京女歯科			一	
日本女大	二〇	三	七	
大阪女医専	一	一	二	
東洋女歯科	一	一	一	
梅花女専				
女子美術	一四	一四	一五	
日本女子体育	二	二	三	
帝国女医専	八	八	一二	
大阪薬専				
横浜専門			二	
(抹消)				
(合計)	一、三四四	五九二	二、八六六	

同志社大学
東京美術学校
東京音楽学校

〔別紙(一)〕

一、帝国政府ハ常ニ日華両国ノ親交ヲ篤クシ共存共栄ノ実ヲ挙クルコトヲ一定ノ方針トシ終始之カ実現ヲ期シテ苦心努力シ来レリ不幸ニシテ過去数年間中国官民ノ言動ハ屢々我國民的感情ヲ刺戟スルモノアリ殊ニ我国ノ最緊密ナル利害關係ヲ有スル滿蒙地方ニ於テ最近不快ナル事件頻発シ竟ニ我友好公正ナル政策モ中国側ヨリ同一ノ精神ヲ以テ酬ユル所トナラサルカ如キ印象ヲ我國民一般ノ心裡ニ与ヘ物情騒然タルニ当リ偶々九月十八日夜半奉天附近ニ於テ中国軍隊ノ一部ハ南滿洲鐵道ノ線路ヲ破壊シ我守備隊ヲ襲撃シ之ト衝突スルニ至レリ

二、当時滿鉄沿線ヲ守備セル日本軍ノ兵力ハ総計僅カニ一萬四

百ヲ過キサリシニ反シ其四辺ニハ二十二万ノ中国軍隊アリ事
態俄ニ急迫ヲ告ケ之ト共ニ同地方ニ居住スル百万ノ帝国臣民
モ亦重大ナル不安ノ状ニ陥リタルニ顧ミ我軍隊ハ機先ヲ制シ
テ危険ノ原因ヲ免除スルノ必要ヲ認メ此目的ノ為メ迅速ニ行
動ヲ開始シテ抵抗ヲ排除シ附近ニ駐屯スル中国軍隊ノ武装ヲ
解キ地方治安ノ維持ニ付テハ中国ノ自治機關ヲ督励シテ其任
ニ当ラシメタリ

三、我軍隊ハ前記ノ目的ヲ遂行スルヤ概ネ鉄道附属地内ニ帰還
集結シ目下附属地外ニ在リテハ警戒ノ為奉天城内及吉林ニ若
干ノ部隊並ニ数個ノ地点ニ少数ノ兵員ヲ配置スト雖何レモ軍
事占領ニ非ス或ハ帝国官憲カ管口税関又ハ監務署ヲ占領セリ
ト云ヒ或ハ四平街、鄭家屯間、又ハ奉天新民屯間ノ中国鉄道
ヲ管理セリト云フカ如キ流説ハ全然誤伝ニ止マリ長春以北又
ハ間島ニ我軍隊ノ出動セリト云フモ亦事實無根ナリ

四、帝国政府ハ九月十九日緊急閣議ヲ開キテ此上事態ヲ拡大セ
シメサルコトニ極力努ムルノ方針ヲ決シ陸軍大臣ヨリ之ノ滿
洲駐屯軍司令官ニ訓令セリ九月二十一日長春ヨリ吉林ニ一部
隊出動セルモ是レ同地方ノ軍事占領ヲ行ハムカ為メニ非スシ
テ滿鉄ニ対スル側面ヨリノ脅威ヲ除カムトセルニ外ナラス從
テ此目的ヲ達スルニ至ラハ我出動部隊ノ大部分は直ニ長春ニ
帰還スル筈ナリ尚九月二十一日ニ至リ滿鉄沿線ノ不安ニ鑑ミ
朝鮮駐屯軍ヨリ混成一旅団兵員四千ヲ新ニ滿洲駐屯軍司令官
ノ麾下ニ屬セシメタルモ滿洲駐屯軍ノ総兵數ハ尚ホ条約所定
ノ制限内ニ止マリ固ヨリ対外關係ニ於ケル事態ヲ拡大セルモ

ノト謂フヘカラス

五、帝国政府カ滿洲ニ於テ何等ノ領土の欲望ヲ有セサルハ茲ニ
反覆縷説スルノ要ナシ我カ期待スル所ハ畢竟帝国臣民カ安
シテ各般ノ平和的事業ニ從事シ其資本又ハ勞力ヲ以テ地方ノ
開發ニ参加スルノ機會ヲ得セシメムトスルニ在リ自國並ニ自
國臣民ノ正常ニ享有スル權利利益ヲ擁護スルハ政府当然ノ職
責ニシテ滿鉄ニ対スル危害ヲ排除セムトスルモ亦此趣旨ニ外
ナラス帝国政府ハ固ヨリ日華善隣ノ誼ヲ重ンスルニ於テ既定
ノ方針ヲ^(加筆)恪守スルモノナルカ故ニ今次ノ不祥事ヲシテ國交
ノ破壊ニ至ラシメス更ニ進ンテ禍根ヲ将来ニ断ツヘキ建設的
方策ヲ講セムカ為メ誠意中国政府ト協力スルノ覚悟ヲ有ス之
ニ依リテ兩國間現下ノ難局ヲ打開シ禍ヲ転シテ福ト成スコト
ヲ得ハ帝国政府ノ欣幸之ニ如カサルナリ

(注記 1)

〔至急〕

(注記 2)

〔施行前要素再回〕^(赤問)

(注記 3)

〔記録掛 17・2・9 受領〕

(注記 4)

〔一三〕(簿册内件名番号)

(注記 5)

〔急〕

(注記 6)

「別紙添付」

(注記 7)

「726」

(注記 8)

「文部省 昭和 6・9・26 官専 485 号」

(注記 9)

〔^(抹消)大阪□□□□□〕

(下札)

^(中山)

⑩種別 よ一／聯繫 / 登録追加 / 件名 東京帝大等へ通牒

満州事変ニ関シ 華民国留学生ニ対スル注意ノ件 / 番号 官専四

八五 / 終了年月日 昭六 九 二九 / 保存年限 ムキ / 枚数

10 〔「自昭5年至昭6年 学生生徒総規」
第3冊〕文部省⑤ 3A, 32—6, 2452〕